

東京エレクトロン株式会社

企業プロフィール

設立

1963年

本社所在地

東京都港区

事業内容

製造業

(半導体製造装置、FPD製造装置の開発・製造・販売・保守サービス)

従業員数

14,079名(連結)

(2020年4月1日時点)

年間休日数

125日(2020年度)

URL

<https://www.tel.co.jp/>

取組のポイント

リフレッシュ休暇として、勤続年数に応じて5年ごとに長期休暇を有給で取得可能。

誕生日休暇として、年1回、自分自身を祝う有給の休暇制度を設定。

取組の目的・概要

- リフレッシュ休暇は、従業員が心身のリフレッシュを図り、就業意欲を高めるために設けられた休暇制度であり、従業員が勤続10年となって以降、5年ごとに長期休暇を取得できる制度である。勤続10年で2週間、15年で3週間、20年で2週間、25年では1か月の休暇を有給で取得できる。
- 誕生日休暇は、年1回誕生日の前後に取得できる有給の休暇制度である。
- 年次有給休暇の取得率は72.6%(2019年度)である。

取組内容の特徴

リフレッシュ休暇で心身をリフレッシュ

- リフレッシュ休暇は、従業員が心身のリフレッシュを図り、従業員の就業意欲を高めることを目的として設けた休暇制度であり、30年ほど前から続いている。
- 従業員に付与される休暇は、勤続10年で2週間、15年で3週間、20年で2週間、25年では1か月間であり、有給で取得できる。
- リフレッシュ休暇の取得期限は、次のリフレッシュ休暇が付与されるまでであり、5年間での取得が可能となっている。
- 上司が取得しないと、部下が取得しづらくなるだろうとの思いから、役員や部長、GL(グループリーダー：課長職)など、管理職も積極的に取得している。
- 同社および国内のグループ会社には同じ基準・期間のリフレッシュ休暇制度が設けられており、また海外のグループ会社では、基準・期間が異なる場合があるが、同様の制度が制定されている。2019年度には、国内で901名、海外514名がリフレッシュ休暇を取得した。

副次的な効果で業務にも好影響

- リフレッシュ休暇には、次の2つの副次的な効果がある。
- 1つに、計画性が身につくというものである。リフレッシュ休暇は長期休暇であるため、予め取得の時期、期間をチーム内で共有し、業務の調整を行うことが必要である。今ある業務をどのように進め、自分が不在の期間、誰がどのように対応するかを明確にしてお

かなければならないため、計画的に業務を進め、自発的な周囲への配慮を生み出している。

- もう1つは、チームワークが良くなるというものである。リフレッシュ休暇取得期間中は、不在となっているメンバーの業務を、他のチームメンバーがサポートしなくてはならない。リフレッシュ休暇は特定の従業員が取得する休暇制度ではなく、すべての従業員が取得できる休暇制度である。そのため、いつか自分が取得するときに周囲にサポートしてもらうことを考えれば、今、リフレッシュ休暇を取得している人をサポートするのは当たり前と思えるようになる。従業員がみな、「お互い様」の意識でサポートし合うことができ、チームワークが良くなって、良好な職場環境を構築することにつながっている。

誕生日休暇は会社からの誕生日祝い

- 誕生日休暇は、年1回、誕生日の前後に取得できる、有給の休暇制度である。
- 感覚的には、年次有給休暇が1日増えたという感じで、会社からの誕生日祝いとして従業員は喜んで取得している。
- なお、この休暇制度は、オフィス勤務者に限定して付与される制度である。工場勤務の従業員は誕生日休暇に代わり、一斉の特別休暇が付与されることで、年間の稼働日数が同一になるように調整されている。

制度利用者の声

リフレッシュ休暇は、私が入社した1993年時点ですでに制度としてありました。私は、勤続25年時点で付与された1か月の休暇取得がまだなので、いつ取得しようかと考えているところです。

リフレッシュ休暇で思い出すのは、勤続15年で3週間の休暇を取得したときのことで。当時、私は海外のグループ会社に出向していました。出向中の身でもリフレッシュ休暇を取得でき、出向先のメンバーも、快く私を送り出してくれたことを覚えています。

私は海外旅行が趣味というわけではありませんが、リフレッシュ休暇は、その出向先に旅行し、当時のメンバーなどにまた会えれば嬉しいなど考えています。